

2019年度 滋賀文教短期大学 FD研修会
「課題解決力の育成 ―高校の学びを大学の学修や就職に繋げる―」 (開催報告)

令和元(2019)年11月
滋賀文教短期大学

■開催概要は下記の通りです。

I. 開催日時

2019年11月20日(水) 15:30~17:20

II. 開催場所

滋賀文教短期大学 翠湖館 あすなろホール

IV. 参加対象

<学校法人松翠学園>

滋賀文教短期大学 専任教員(全員)、FD委員 職員、教学企画室 職員

岐阜女子高等学校 教員(希望者)

岐阜第一高等学校 教員(希望者)

<滋賀文教短期大学 協定校>

滋賀県立長浜北星高等学校 教員(希望者)

<その他>

高等学校に所属する教員(参加希望者 事前申込制)

V. 発表者

本学 副学長(校務により学長不在) : 開会および閉会の挨拶

本学 FD担当課 学務課 河村繁郎課長 : 司会・学外講師紹介

株式会社リアセック 根本康宏氏 : 特別講演「基礎力測定テスト PROG から見る学生の傾向と基礎力育成の取組事例」

長浜北星高等学校 教諭 黒川精氏 : 高等学校 実践報告「『産業社会と人間』における自己啓発とキャリア教育の取り組み

本学 子ども学科 教員 小林雅彦先生・伊藤孝子先生 : 大学 実践報告「課題解決力を育成する授業づくり」

本学 改革支援部 教学IR係 兼 FD委員(本研修会運営主担当) 日原有梨 : 「教学IRから見えてきた本学学生の傾向」

■参加者のアンケート結果は下記の通りです。

1. ご回答者について教えてください。

選択項目(択一)	回答数	受付数	備考
① 本学専任教員	9	19	受付のうち2名は発表者
② 本学専任職員	1	3	受付のうち2名は発表者あるいは司会
③ 高等学校教員	16	18	
④ その他	0	—	

2. 本研修会を初めて知ったとき、何でお知りになりましたか。

選択項目(択一)	回答数	割合
① 学内での周知	16	61.5%
② 本学からの案内状	9	34.6%
③ 本学ホームページ	0	0%
④ 他の高等学校からの案内	0	0%
⑤ その他	1	3.8%

3. 本研修会に参加した理由を全て選んでください。

選択項目(複数選択)	回答数	割合
① 高大接続に対する関心	18	42.9%
② アセスメントテストPROGに対する関心	5	11.9%
③ 「産業社会と人間」に対する関心	4	9.5%
④ 本学の教育内容に対する関心	3	7.1%
⑤ 教学IRに対する関心	2	4.8%
⑥ 周りからの勧め	6	14.3%
⑦ その他	4	9.5%

4. 特別講演「基礎力測定テストPROGから見る学生の傾向と基礎力育成の取組事例」は参考になりましたか。

選択項目(択一)	回答数	割合
① 参考になった	21	80.8%
② どちらともいえない	4	15.4%
③ あまり参考にならなかった	1	3.8%

5. 実践報告「『産業社会と人間』における自己啓発とキャリア教育の取り組み」は参考になりましたか。

選択項目（択一）	回答数	割合
① 参考になった	21	80.8%
② どちらともいえない	3	11.5%
③ あまり参考にならなかった	2	7.7%

6. 大学実践報告「課題解決力を育成する授業づくり」は参考になりましたか。

選択項目（択一）	回答数	割合
① 参考になった	23	88.5%
② どちらともいえない	2	7.7%
③ あまり参考にならなかった	1	3.8%

7. 「教学IRから見てきた本学学生の傾向」は参考になりましたか。

選択項目（択一）	回答数	割合
① 参考になった	20	76.9%
② どちらともいえない	4	15.4%
③ あまり参考にならなかった	2	7.7%

8. 本研修会の運営における改善点としてあてはまるものを全て選んでください。

選択項目（複数選択）	回答数	割合
① 特になし	21	80.8%
② 会場内の温度・湿度	1	3.8%
③ マイクの音響	0	0%
④ スクリーンの見やすさ	1	3.8%
⑤ 開催時間	3	11.5%
⑥ 会場へのアクセス	0	0%
⑦ 椅子・机	1	3.8%
⑧ その他	1	3.8%

9. その他、良かった点、改善点、次年度以降取り上げてほしいテーマなどをご自由にご記述ください。

<その他>

・課題解決力を身につけさせる為に、高校においてもすべての授業で「主体的・対話的な深い学び」を実践していく必要がある。その方法として、グループワークなどのアクティブラーニングを取り入れて授業をしたい。
 ・高校でも授業改善が必要となっています。お互いの授業についても授業見学や授業研究ができるよう場があれば、刺激になるのではと思います。

<良かった点>

・PROGテスト（リテラシー、コンピテンシー）が参考になりました。ありがとうございました。
 ・少人数（大変失礼ではありますが）の中でもIRに積極的に取り組まれ、日々の授業に生かしておられることを知りました。自分自身、日々の業務に生かしていく必要を感じました。
 ・グループワーク型の授業がコンピテンシーの伸長に有効であることがよく分かりました。本校の「総合的な探求の時間」においてグループワーク型の授業を行っていきたいと思います。
 ・大変参考になりました。お忙しい中、研究会の開催ありがとうございます。大学だけでなく、保幼小中高での連携をしていくことが児童、生徒、学生の能力の伸長となり、社会を発展させるものだと感じました。
 ・課題解決力を身に付けさせることの大切さ、また、その方法について勉強させていただき、意義のある研究会でした。ありがとうございました。

<改善点>

・高等学校の教員が授業改善に応用できる内容が少ないように感じました。PROGの結果を用いた具体的な改善方法やこれに関わる情報がいただけると、より教員の資質向上や授業力の向上に期待ができると思います。本日は、ありがとうございました。

<次年度以降取り上げてほしいテーマ>

・高校でどのような取り組みが行われているのか、現場で実際に担当されている先生から話を伺う機会は貴重なので、同様の機会を次年度以降も設定してほしい。
 ・落ち着いた雰囲気での研修をすすめていただきました。ありがとうございました。授業改善の仕方や授業研修会の持ち方について、今は興味があります。
 ・入試区分別の就職内定時期や職種との関連

*自由記述については、本学で集計する際にテーマごとに分類しております。

以上